

■国民健康保険特別会計
補正予算

事業勘定

補正額 4億8千45万6千円
総額 77億1千324万6千円

直営診療施設勘定

補正額 575万1千円
総額 1億6千879万1千円

質疑

直営診療所診療収入の減額補正424万9千円の原因は。

答弁

17年の合併当時から年々患者数が減ってきており、合併時と比較すると約1千900名減少している。

質疑

八開診療所の職員を1名増員した理由は。

答弁

医療事務従事者が本年度末に1名退職すること、レセプトの電子化に伴い、今年度パソコンを導入したことから、職員を1人増員した。



■介護保険特別会計補正予算

保険事業勘定

補正額 371万円
総額 34億5千705万7千円

サービス事業勘定

補正額 △68万8千円
総額 1億8千843万6千円

■農業集落排水事業等特別会計補正予算

補正額 △9千円
総額 9億2千959万6千円

■公共下水道事業特別会計補正予算

補正額 5千44万8千円
総額 15億1千374万1千円

■水道事業会計補正予算

収益的支出

補正額 42万9千円
総額 4億8千982万3千円

推薦

■人権擁護委員候補者

伊藤 隆 氏 (西川端町)

山田 二郎 氏 (日置町)

加藤 文彰 氏 (南河田町)

を適任としました。

討論

介護・福祉・医療など社会保障の施策拡充についての陳情

賛成討論

医療費削減を目的とし、年齢で差別する後期高齢者医療制度は、即刻廃止すべきだ。介護労働者の生活でできる賃金の人材の確保や、障害者自立支援法の廃止は国民の切実な願いだ。要望が満載だが、それだけ国民、市民の願いのこもった

陳情だ。市でいくつかの要望が実現している。ぜひ議会も陳情を採択し、市民の声にこたえるよう要望する。

反対討論

少子高齢化が進んでいる現在、今後ますます増大する社会保障給付費を支えることが大きな問題だ。現役世代に過重な負担になることは避けなければならない。陳情項目には、実施してほしいところもたくさんあるが、陳情事項が多岐にわたっているため、すべての内容について拡大するのは困難と考え、反対する。

